



英語の勉強の仕方

必ず先に英語脳を読んでからここを見てください
お願いします

1) 準備

英語学習に必要なもの

1. パソコン

上質の音声がでるもの (ビープ音しか出ないものはちょっとね~~)

ヘッドセット

2. 音声処理ソフト (これらのソフトは一例です。リンク先が切れていた場合はごめんなさい)

(1) パソコンでマイクからの発声やCDなど音声出力を録音する

[Audio Record Deluxe](#)

(2) 録音した音声やその他の音声を途中から聞いたり加工する。

[GoldWave Deluxe](#)

リンクがうまくいかない時



ZIP 解凍ツール([WinRAR](#) or [Lhaca1.2](#))

(3) 音声コンバート

Midi から MP3

[i-Sound MP3 WMA Recorder 6.60 Professional](#)

RM から MP3 Wav

[Bingo! RM to MP3 Wave Converter](#)

(4) オーディオ CD から Wav MP3 へ保存します

[FreeRIP 2.951](#)

(5) DVD から wmv へ保存します

wmv ファイルをそのまま [GoldWave](#) に貼り付ければ音のみ保存できます

[DVD Decrypter 3.5.4.0](#)

3 . ダウンロードツール

[NetTransport](#)

[説明などなど](#)

このページの下の方に薄い文字で書いてある

http://www5f.biglobe.ne.jp/~sharkey/Test/NT2Setup_multi.EXE

からはバージョンの低い方がダウンロードできます

4 . 英語の発音の出る辞書

[Microsoft Bookshelf](#)

5 . 教材

(1) DX English

[DX English 教材とプログラム download](#)

幼児から小学6年生くらいまで。

初級の英語学習でリスニングに効果を発揮します。アニメーションを見ながら聞いて話す、聞いて書く・タイプするの繰り返し、ネイティブ発音を脳に叩き込みます。ヒントも柔軟で子供の習熟程度に合わせて勉強が進められます。集団学習の中での個別学習の実現が可能です。

(2) 学研

[小学英語・Vメイト](#)

ある程度の英語学習経験のある子供から中学3年生くらいまで。

ある程度の英語学習とは、DX English のワードを延べ50時間程度聞いた

経験を言います。学習内容は **phonics** を重視した組み立てになっており、アニメーションでの会話や文章の数も豊富です。1レッスン普通に学習しても40 - 50分は必要で、子供の集中力を保持したままの学習継続には工夫が必要です。これは第一級の英語教材にはちがいません。

(3) learning company [Reading](#)

学研 小学英語・Vメイトの英文が聞ける子供の補助教材。

米国の教材開発会社で、子供が興味をもつ物語が多数あります。ただし教材の多くは英文の画面表示が消せないのが最初の内子供に対して何らかの工夫を考えて聞く力を更に身付けて下さい。

(4) Storynory [Listening](#)

子供でもみんな知っている私たちに馴染みのある多くのストーリーを、英語の朗読ファイルと英文テキストで無料で配布しているイギリスのサイトです。英語を習い始めた子供にはちょっと難しいかもしれませんが、毎日少しずつ聞かせていって英語の音に慣らせるもの一方法です。これが聞けるようになるという、英語学習の目標の一つでも良いかもしれません。意味は「こうなんだよ」と子供に話してやる程度で、決して子供にこの英文を日本語に訳させるなどの愚行はやめてください。

英語学習にとりあえず不要なもの

単語の羅列のCDと絵本

単語と絵の書いてある本やカード

英語の漫画本

ネイティブ発音と子供の発音を比較するグラフ

「13時間で英語が話せる」「苦労しないで英語をマスター」などの広告

2) さいしょに

1. 子供と英語の勉強について話し合う

これは最も重要な作業なのです。

毎日、いつ頃、どのくらいの時間、アニメを見ながら英語を聞こうね、など実際に DX English を見せながら子供に説明します。実際に学習する1日の時間は、次を目安にしてください。

幼稚園児で	10～20分程度以上
小学2年生までで	15～30分程度以上
小学6年生までで	30～40分程度以上

2. 学習量と目標の設定

1日に1レッスンを聞こうねとか(DX EnglishはLesson1,2,3・・・という風に分かれている)、休みの日には2レッスンをしよう、などと決めていきます。そして、夏休みまでにLesson1からLesson12までやろう、などと全体の学習ボリュームを決めて紙の上に学習計画書を子供に書かせ、できれば机の前に貼り出します。子供の英語習得の目標設定を、NHKの英語であそぼが「ちゃんと聞けてアメリカ人と話せたらいいね」などと言って、長期目標では英語であそぼが聞き取れて、日常の会話が苦労なく聞けて喋れるようになることにしたらいいかがでしょうか。そうすれば次は、セサミストリートが聞いて楽しめるようにな

るという目標が近づいてきます。

3) 学習の開始

1. 最初は聞くだけ

アニメーションを見ながら**ワードの発音を聞**きます。この時に間違っても日本語の意味を子供にたずねないでください。DX English には、ワードの綴り字や日本語の意味を画面に出すことも出来ますがまだまだ出すのは早いのです。ワードの綴り字は[自動ヒント機能](#)で自動的に出てきますから、ヒントアイコンをクリックしてノーヒントにして、さらにヒント固定アイコンをクリックしてヒントが自動的に出ないようにしてください。ノーヒントにするとワードの綴り字はまったく出てきません。とにかく聞くだけです。

親であるあなたの忍耐が試される時です。

2. ステップ_ワン 聞いてしゃべるを繰り返す

1 ~ 2 度聞いたら本格的に音の記憶の学習に入ります。今までと同じようにアニメーションを見ながらワードの**発音を聞き**、そして子供はその**発音をしゃべります**。まさにオウム返しの始まりです。この時、子供が他のことを考えていたり、日本語をしゃべったり、本を眺めたり、ぐずったりしたらいけません。子供の気分が散漫になったらすぐに休憩してください。たとえ英語の学習を30分もやっても、集中していなければ、英語を聞いてしゃべる繰り返しの意味がありません。英語を聞くときや勉強をするときは、集中しなければいけないということもしっかりと子供の身に付けてください。



オーム返しは英語習得で とても 効果的な方法です

3. 親の忍耐

英語習得の最も大きなポイントはリスニングなのです。リスニングができなければ英語の習得はできません。英単語をCDの音を聞いて、スペリングと絵を見ながら**本で覚えよう**としたり、英会話の例文を**本を見ながら覚える**ようなことをしてもなかなか上達しません。英語脳で書いていますように「見る」も「聞く」も同じ言語ですからどちらも言語中枢に入ってきて、中央情報処理部位が良くわからないと判断した方は廃棄してしまいます。廃棄されれば脳の「意識」まで伝わらず、したがって記憶されることは無い訳です。アニメーションは「見る」の情報ですが、言語ではないので抽象中枢にバイパスされ、「聞く」の言語と共に中央情報処理部位に廃棄されず「意識」に伝わります。そしてどちらも記憶されるのです。子供がこの記憶の作業をしようと一所懸命に聞いてしゃべる、を繰り返している時に、そのワードの日本語の意味を尋ねたり、あなたがそのワードの発音をしたりしないでください。子供がわかっていないのではないかと思いますので、この時、あなたが子供にできる最大の手助けは、子供が

集中して聞くしゃべる

の練習ができるように静かにすることです。

でも、つい子供に聞きたくなるのよね～。 忍耐！ 忍耐！

4 . 聞いてしゃべるのがおわったら

安静にさせてください。

英語の音を聞いてしゃべった**後は**、少なくとも10分は何もさせないで静かに休憩させてください。もし子供が我慢できれば**20分安静**に休憩するのがベストです。この時間は私たちの経験値です。子供は脳の中で先ほど聞いた英語の単語の音世界を巡らせるのです。脳が英語の音を記憶するに、この空想にも似た巡り（反復作用）がとても重要になって来るようです。子供が退屈なら絵を描かせてください。絵の中で先ほど聞いた英語の音の世界に浸ります。終わってすぐにテレビを見たり本を読んだりゲームをしたりするのは、リスニングによる音の記憶の効果を台無しにさせます。子供がどれだけ静かに休憩するかが難しいのです。

そう！

食べるのは問題ないようですから、英語の音を聞いてしゃべった後に、お菓子でも食べながら頭を安静にするのは良いかもしれません。

5 . ステップ_ツー

お持ちの DX English の教材で、聞いてしゃべるの訓練が3 - 4 順くらいしたら、DX English に付いている録音機能で子供の発音を録音してください。パソコンのネイティブ発音に続いて子供が発音する時に録音をして、すぐに子供の発音を再生し、ネイティブの発音と比べてください。**聞いて録音の繰り返し**です。子供の録音再生もパソコンのネイティブの発音も同一画面上でワンクリックですので子供でも出来ます。子供は発音の違いを必ず見つけるはずで、そしてこれを繰り返します。ところが難問が発生します。子供は自分の声の録音がおも

しろいものですから、あ～ う～ げー などの声を録音し始めます。怒らないでしばらく遊ばせてください。そして「あと2分経ったらちゃんと英語を録音してね」と約束させます。お母さんの声の録音を子供が要求してきたらしめたものです。あなたの英語（今勉強している単語やセンテンスが良い）を録音して子供に聞かせてください。子供はパソコンのネイティブの発音とあなたの発音の違いがすぐに判るはずですが、子供はひょとして、ネイティブの発音とあなたの発音を別々にまねして発声し笑うかもしれませんね。これは子供の英語聴き取り能力が向上した証拠になります。あなたは嬉しくて最初の涙を鼻をぐずらせて誤魔化すかもしれません。

6 . ステップ_スリー

DX English の教材で聞いて録音の訓練が、子供の習熟程度によるのですが大体3 - 6 順くらいしたら、いよいよ日本人の大人が一番安心する英語の勉強スタイルになります。DX English の教材には英語の発音を聞いてタイピング練習する機能があります。子供は先にワードの音を聞く能力を身に付けた訳ですから次の訓練では、**聞いてしゃべってタイピング**をさせてください。キーボードのキー配列を子供が知らなくても特別に教える必要はありません。DX English はパソコンがキー入力を要求している時にキー入力がない場合次のようなヒントを順番に出してきます（自動ヒント機能）。

- (1) ノーヒント
- (2) スペリングが画面上に出ます
- (3) スペリングが出たままで、要打キーの画面上のキートップの

周りが点減します

(4) スペリングが出たままで、要打キーの画面上のキートップが
点減します

(5) スペリングが出たままで、要打キーの画面上のキートップが
点減し、正しいキーの打ち方を示した手位が出ます

これらのヒントは自動的に変化します。すなわちキー入力が無いときは(5)の方向に向かって1個ずつヒントが増加しますが、正しいキー入力があればヒントは(1)の方向に向かって1個ずつ減少して行くのです。この機能は、自宅での英語とパソコンの打キー学習の自習の可能性を高めたと同時に、学校での集団学習の中での個別学習の実現を可能としたものです。英語の聴き取り能力とパソコンのキータッチ能力がそれぞれまったく違う子供たちに、一人の教師がいかに効率的に個別学習効果をあげ得るかの問題について一歩解決に近づけたものです。さらに、この自動変化ヒントはあるヒントで固定することも可能です。特定の子供に対してノーヒントの状態(上の(1))でキーを打たせる。もっとも理想的な英語のリスニングとライティングの状態を作り出すことが可能です。また一方キーの入力がまだ出来ない子供に対して、正しいキーの打ち方を示した手位が出てくる(上の(5))状態にして、キー入力の習得を進めるという具合です。さて、あなたの子供さんたちははいかがでしょうか。たとえキー入力がうまくなくても焦らないでください。英語を聞きながらキー入力の仕方を憶えるという良い機会に恵まれたのですから。

音は子供の長期記憶に焼き付けられてはいないかもしれません。ここで日本人の得意な「見る」英語の記憶が「聞く」を追い越したら大変です。このステップ__ファイブはあわててする必要はありません。300個のワードの綴り字を言ってワードの発音を発声することができるようになってからでも決して遅くはないのです。

9. 次へ進む

DX English には、アルファベット、ワード、300個常用ワード、会話、と多くの教材を揃えています。200 - 400個程度のワードの聞いてしゃべると、タイピングが出来る様になりましたら会話の教材に進んでください。ここでは日常使われる英文が出てきますので、ワードを勉強してきた時と同じように、まず英語のセンテンスを見ないで、

聞いてしゃべる

聞いて録音

聞いてしゃべってタイピング

の順番に進めます。あれっ？ と思われたかもしれませんが、会話の勉強では、聞いて綴り字を言いワードを発声がありません。会話のリスニングが出来るようになればショートセンテンスの書き方に移るようになります。phonics から writing への勉強に幅が広がってきます。ただ、まだあせって英語の本を読ませようなどとは思ってはいけません。その前に大事なことを時間をかけてしなければいけないのです。このような私たちの英語学習指導の考え方によく似た方法で成人の人々を対象に、効果の上がる英語の勉強方法を勧めていらっしゃる方もおられます。参考の為あわせて[こちら](#)もご覧頂くと、正しい英語の学習方法が更に

納得できると思います。

4) 英語習得の要

ここまでくれば、あなたの子供は英語を、聞く、聞こう、とする能力を具えたと思います。さあこれから、俗に言われる「イングリッシュシャワー」の始まりです。

1. 多くの英語の文章を聞かせる

このページ最初の [1\) 準備](#) で良い教材を紹介しています。 [DX English](#) と [学研小学英語Vメイト](#)、それにアメリカの教材会社 [learning company](#) です。

これらは、良質の英語の発音が収録してある一級の教材だと思いたしますが、決して安くない価格で購入しなければなりません。ここで私が紹介しているこれらの教材以外にも、とても多くの良質な英語のストーリーがありますので、できるだけたくさんの英語のストーリーを子供たちに聞かせてください。注意しないといけないのは、こどもがまだ知らない単語が多くでるストーリーは、子供たちに苦痛を与えるので聞かせるのを止めて頂きたいのです（少しだけならとても良いのです）。つい大人は知らないワードを一つでも多く子供たちに聞かせると、より多くのワードを憶えてくれるのではないかと期待しますが結果は逆になります。難しすぎて気持ちが散漫になり言語中枢の「聞く」が、せつかくの英語の音を雑音と判断して廃棄してしまいます。前に聞いたワードでも新たに聞く場面がちがうからこそ「意識」が、重要な言葉として記憶せねばなるまいと、長期記憶に収さめて行くのです。どうかみなさんは安心して子供のレベ

ルに合った英語を聞かせてあげてください。インターネットの中には、無料で子供向けに英語を聞かせてくれるサイトがとてたくさんあります。難易度に相当なバラツキがありますので、最初に一度みなさんが良く聞かれた後子供たちに聞かせてください。私が時々おじゃまするサイトは次のところです。

2 . イングリッシュシャワーはインターネットで

ここの中に <http://www.manythings.org/e/listening.html>

これがあって <http://www.manythings.org/listen/>

[こんな英語がきける](http://www.manythings.org/listen/ckmp3-jh1.html) <http://www.manythings.org/listen/ckmp3-jh1.html>

<http://www.manythings.org/listen/ckmp3-jh2.html>

これらの英語の音をダウンロードして [GoldWave Deluxe](#) などの音声編集ソフトで子供に聞かせてください。サイトをそのまま見せて聞かせると、子供はつい英文を見てしまいますので聴き取り訓練の効果が大きく減少します。英文は、あなたの為のものです。ちなみになぜ GoldWave Deluxe などの音声編集ソフトを使うかと申しますと、子供が聴き取りにくかったところだけを何度も再生することの作業がやりやすいからです。ウンドウズメディアプレーヤー (**wmp**) 等だと聞かせたいところの正確な頭出しは不可能ですよね。

またこんなのがあって <http://www.bbc.co.uk/skillswise/>

listening を選ぶとこれが出て <http://www.bbc.co.uk/skillswise/words/listening/>

type of listening を選ぶとこうなって

<http://www.bbc.co.uk/skillswise/words/listening/typesoflistening/index.shtml>

worksheet を選ぶとこれがでてきて

the audio を押す

この BBC の英語の音声は r m ですから一度 MP3 等に変換しないと GoldWave Deluxe が使用できません。変換ソフトは [Bingo! RM to MP3 Wave Converter](#) を試してみてください。r m の使用できる音声編集ソフトもあると思いますので探してみてください。これらの音声は[ファイルダウンロードツール](#)を使うと便利です。回線が切断したのちでも継続してダウンロードができます。

その他のリスニングサイトを次に書き入れておきますね。私が見ていやらしいものは無かったと思いますが、念には念を入れて子供に見せる前に必ずあなたが最初に一度見て下さいね。

くれぐれもご注意申し上げますが、子供が50個や60個のワードが聞けるようになったからといって、これらインターネットサイトの英語を無理やり子供に聞かせてはいけませんよ。子供の知らない英語の音がありすぎて「あれっ」と思う前に雑音となってしまう、まったく脳の「意識」に伝わらず英語の音の記憶に至りません。少なくとも300個のワードの音が聞き取れるようになってから、これらインターネットの英語の文章を聞かせてあげてください。それまでは DX English などの教材で何度も何度も英語の音を300個以上繰り返して聞いてください。

リスニング

<http://www.manythings.org/e/listening.html>

の中にイングリッシュシャワー初級向け

<http://www.manythings.org/listen/>

とか

<http://www.manythings.org/voa/wm/>

リスニング ちょっとかったるいな～あ？

<http://members.iinet.net.au/~adelegc/>

リスニング リーディング

いろいろあるのでさがしてください

<http://www.ivyjoy.com/fables/fablelinks.html>

リスニング リーディング

Storynory 子供の喜ぶストーリー
音声と英文の両方の掲載がある
<http://storynory.com/archives/>

リスニング リーディング

LearnEnglish Central(British Council)ストーリー多数
音声と英文の両方の掲載がある
<http://www.britishcouncil.org/jp/learnenglish-central-listening-downloads-stories.htm>

これからも少しずつ掲載を増やしていきます。

一度にたくさん載せますと見るほうが落ち着かなくなるかも知れませんが。

[大学センター試験]

2006年1月21日の大学センター試験に初めて英語にリスニングテストが導入されるなど

聞くの能力重視が定着しつつあります。

(平成20年度)2008年1月19日(土)実施 センター試験英語リスニング

[download](#)

(平成19年度)2007年1月20日(土)実施 センター試験英語リスニング

[download](#)

(平成18年度)2006年1月21日(土)実施 センター試験英語リスニング

[download](#)

[英検 ([日本英語検定協会\[step\]](#))]

大学・短期大学・高等学校等の入試の際、英検資格取得者を優遇する学校は一段と増加しています。特に高等学校においては一般・推薦入試を合わせて860の高等学校(公立420校,私立440校)で英検の取得資格が入試における

[優遇の対象](#)となりました。(2007年1月末現在)

過去出題(筆記とリスニング)

[download](#)

